

事業効果検証シート（一覧）

No	① 『交付対象事業の名称』 事業概要	② 実績額 (単位:円)	③ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				④ 本事業終了後における実績値		⑤ 外部有識者からの評価		⑥ 実績値を踏まえた事業の今後について		
			指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
1	『IT・ソフトウェア関連産業企業立地優遇制度助成金』 対象産業に関わる企業のうち、新規に3名以上を正規雇用、または市内事業所等における純増(1年以上の雇用継続が必要)を行った法人に対し、以下の支援を実施する。 ■雇用に関わる経費の助成(上限30万円/人、1回限り) ■従業員家賃負担の助成(上限15万円/人月、2年間) ■事務所取得経費の助成 30%(上限1,500万円、3年以内、1回限り) ■通信費の助成 50%(上限200万円/年、5年間) ■事務所賃借料の助成 30%(上限5千円/坪かつ300万円/年、5年間)	5,350,000	指標①	対象産業の雇用を伴う起業又は事業拡大	1	件	平成28年3月	1	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・新規雇用者11名という素晴らしい成果である。ICT活用産業の成長が見込まれるとすれば、事業を上手にPRしてさらに成果を上げてほしい。 ・適正な受益者負担となるよう、引き続き事業実績報告書で確認すること。 ・起業する際の初期投資を抑えられるよう空家対策施策と連携をとるべき。	事業の継続	雇用の拡大及び人口増に資する事業であり、市内既存企業を含め、積極的に企業訪問を行い、事業の周知、紹介を実施する。
			指標②										
			指標③										
			指標④										
			指標⑤										
2	『応援人口拡大事業』 ■「よこてfun通信」等を発行し、横手市の魅力を伝える。 ■未来の横手ファンとなる市内の若い世代を巻き込み、横手をよく知り、郷土に愛着意識の醸成を促す。 ■横手ファンクラブとなり得る協力団体の下地つくりと育成	5,041,550	指標①	応援市民ネットワーク	3,000	人	平成28年3月	2,600	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・事業内容、公負担は適正であるが、市民に対しても事業のPRを行うべき。 ・地元中高生へのレクチャーは大事。市内すべての小中学生に発信できればなおよい。	事業の継続	横手市出身者が知りたいふるさと情報など掲載内容の充実はもちろん、地域産品を数多く紹介することにより、購買意欲も高められ、地域産品の販路拡大にも貢献できる事業である。4年後をめぐり、編集・発行業務の民間移行を目指す。
			指標②	未来の横手ファン下地作りとして、地元中高生へのレクチャー	3	回	平成28年3月	3					
			指標③	横手ファンクラブ(仮称)へのアドバイザー及び協力団体の確保	3	団体	平成28年3月	2					
			指標④										
			指標⑤										

事業効果検証シート（一覧）

No	① 『交付対象事業の名称』 事業概要	② 実績額 (単位:円)	③ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				④ 本事業終了後における実績値		⑤ 外部有識者からの評価		⑥ 実績値を踏まえた事業の今後について		
			指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
3	『よこて農業創生大学事業』 ■実験農場人材育成事業・・・園芸作物の高品質生産で所得向上を目指す就農者の育成 ■実験農場機能強化事業・・・実験農場研修施設を整備する。(ハード事業) ■ブランド戦略事業 ①ブランド戦略の策定 ②地域資源を活用した新たな商品化に取り組む人材の育成 ③異業種の連携基盤の構築 ■地域価値創造拠点構想策定事業 普及活動や栽培の研修・各種営農相談活動や新規作物試験栽培実証等を行う農業振興の拠点整備構想の策定	56,593,611	指標①	農業技術向上研修受講者	50	名	平成28年3月	90	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	外部有識者からの意見 ・新規就農者の募集をもっと広く発信するべき。また移住体験事業とタイアップして、人口増につながるようにするべき。 ・農業技術向上研修受講者が多ければよという話ではない。荒地が増えてきているので、その対策が必要。 ・農産物等のブランド化には一層の創意工夫が必要。JAや県との連携も密にして進めてほしい。	事業の継続	農業は本市の基幹産業であることから、本事業の成果品である地域価値創造拠点整備構想・計画に基づき、拠点施設等整備を進めるとともに、新規就農に向けた人材育成、農業所得向上に向けた取組を着実に実施する。
			指標②	新規就農者研修者	5	名	平成28年3月	4					
			指標③										
			指標④										
			指標⑤										
4	『増田まんが美術館魅力アップ事業』 ■まんが原画収集保存事業・・・まんが美術館として長年交流しながら築いたきた豊富な人脈(漫画家や編集者、大学関係者等)と実績を活かし、マンガ原画の収集を行うとともに、近年国内でも注目が集まっているマンガ原画の保管方法などを調査研究しながら、日本のマンガ文化の先駆者として、マンガ原画収蔵数世界一を目指す。 ■人材育成事業・・・マンガの専門知識取得のための研修派遣、外部専門家招聘、子どもたちが対象の移動マンガ教室。 ■特別企画展等開催事業・・・リニューアル前後に各種特別企画展や漫画家交流会等を実施。 ■増田の町並み連携事業・・・増田の町並みと連携した新たな事業を展開する。	19,312,440	指標①	美術館来館者数	60,000	人	平成28年3月	60,555	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	外部有識者からの意見 ・まんが美術館リニューアルの全容が見えないが、リニューアル後の来館客数の目標が、現在の倍というのは設定が高すぎないか。 ・まんが美術館までのアクセス周知、限定グッズ販売、カフェメニューなど工夫していただきたい。 ・集客のため、更なる宣伝、発信が必要。	事業の継続	現在は複合施設となっている「ふれあいプラザ」については、平成29年度にリニューアル工事を実施するため、30年7月のリニューアルオープンに向けて交流人口の拡大が期待できる。 リニューアルのための休館期間中も、イベントを実施する。
			指標②	まんが原画収蔵数	55,000	点	平成28年3月	77,511					
			指標③										
			指標④										
			指標⑤										

